

平和の主御自身が、いつか
なる場合にも、あなたがたに
平和をお与えくださるよう、
2テサロニケ3章16節

発行所 カトリック長崎大司教区 広報委員会
発行人 中 田 輝 次
〒852-8113 長崎市上野町10-34
カトリックセンター内
TEL 095(843)3869
FAX 095(843)3417
郵便振替番号 01880-5-2699
カトリック長崎大司教区ホームページ
http://www.nagasaki.catholic.jp



9月・教皇さまの 意向のために祈りましょう

- ①一般の意向：広報のメディアのふさわしい利用
- ②宣教の意向：永続的養成
- ③日本教会の意向：難民・移住者との交わり

第33回原爆殉難者慰霊祭



野下 千年 師



ザウルニョク 神父

長崎市松山町の原爆落下中心地公園で原爆忌前日の8日夜、原爆殉難者慰霊祭(主催長崎県宗教者懇話会)が超宗派合同の祭礼により行われた。カトリック教会からは高見大司教をはじめ司祭、修道者、信徒など多数参列、長崎カトリック合唱団は、仏教のルンビニコラスとともに合唱した(写真)。

長崎県宗教者懇話会の会長野下千年師(中町教会主任)は、千人余の市民が殺害された中東の戦場にふれた後「日本の平和が戦争と原爆によって失われた多くの方々の犠牲の上にもたらされたことを忘れることなく、今、享受しているこの平和を感謝し、世界中の人々にこの幸せが実現されるよう祈りと平和への絶えざる努力を続けたい」と慰霊の言葉を述べた。

また原発事故の汚染被害を受けたベラルーシ共和国のザウルニョク・ウラジスラウ神父は「ベラルーシも長崎と同じく放射線の痛みを持っています。広島・長崎の原爆忌などには死没者の皆さんのために長崎から寄贈を受けた『平和の鐘』を鳴らし、お祈りしています」とあいさつ。

同神父は8月5日長崎入りし、浦上教会での原爆殉難者のためのミサ、平和祈念式典、たいまつ行列、平和祈願ミサなど一連の原爆忌行事に参加した。10日は長崎大学教授で現在、スイス・ジュネーブにある世界保健機関(WHO)の放射線専門技官として働く山下俊一氏(城山)の案内で天草の重症心身障害児(者)施設を訪問、後日、東京、モスクワ経由で帰国した。

昨年被爆60年の印象深
いたいまつ行列が今年も
引き継がれた。午後7時
30分、約2000人の参
列者が浦上教会を出発点
として如己堂前と松山町
の2コースに分かれて平
和祈願ミサ会場の平和公
園を目指した。たいまつ
行列中ロザリオの祈りが
自然と始まり、行列中に
通りかかった一般の人々
にも平和への願いを届け
るようになった。

たいまつ行列に続き、
三木篤篤・広島、宮原良
治・大分司教、またベラ
ルーシからザウルニョク
神父、各方面からの司祭
と信徒、平和祈願ミサに
真つすぐに集まった人と
あわせて祈りがささげら
れた。

高見大司教は説教の中
で、「キリストにならい、
愛することによって平和
を打ち立てる」ことを強
調した。この目標を具体



化するために「他者を、
無償で、先に愛すること」
と「違いを認め、互いに
受け入れ合うこと」「自分
の命を与えるほどに愛す
ること」この3つを実行
して平和に貢献するよう
に招いた。

平和祈願ミサの後、テ
ノール歌手秋川雅史(ま
さふみ)氏が「千の風に
なつて」という詩を朗読
し、溢れるほどの声量に
乗せて詩を歌った。会場
いっぱい響く歌声は、
風に乗って、亡くなった
魂に確かに届いた。

キリストに祈ることから 平和は始まる

8月9日、61年目の長崎原爆の日を迎えた。この日に真の平和を願い求める人は祈ることから始まる。早朝のミサ、原子爆弾の投下時刻の平和式典、追悼ミサ、そして日が沈んで一日の終わりを告げてからも平和を願う祈りは絶えなかった。「わたしは、平和をあなたがたに残し、わたしの平和を与える(ヨハネ14・27)。平和の土台は、私たちの祈りである。



テノール歌手 秋川雅史氏

被爆マリア小聖堂 銘板祝別式・ 追悼ミサ

8月9日午前10時50分
から「被爆マリア小聖堂」
で新たな死没者の銘板が除幕された



新たな死没者の銘板が除幕された

(浦上教会右側の小聖
堂で新たに亡くなられ



死没者名簿を安置する浦上教会信徒

佐世保地区平和祈願祭

8月15日(火)、アルカ
スSASEBOにおいて
佐世保地区評議会主催の
「聖母平和祈願祭」が行
われた。この聖母平和祈
願祭は、佐世保地区が聖
母被昇天のお祝い日であ
り、終戦記念日であるこ
の日に毎年行っているも
ので、今回は特に「フラ
ンシスコ・ザビエル生誕
500年」の年にあたり、
その行事の一環として、
ザビエルと宣教について
考え、聖母マリアを通し
て世界平和を祈る集いとな
った。

まずはじめに佐世保地
区の評議会議長、松崎薫
氏(鹿子前教会)が「社

重され、争いのないより
良い世界が実現するよう
祈ってまいりましょう」



とあいさつし、第1部では、26聖人記念館館長のデ・ルカ・レンゾ神父が「ザビエルと宣教」という演題で講演を行った。レンゾ神父は講演の中で、日本語を話せなかったザビエルがどのようにキリスト教を日本に伝えたのかをザビエルの手紙や彼について書かれたものから紹介し、またザビエルが「対話的宣教」という言葉を使っていることを指摘し、自分の考えや宗教、知識の押し付けではなく、相手の理解し相手の立場に立つて、言葉を超えた信頼関係を築くことの大切さを強調し、それが私たちの生活にも必要なことだと話した。第2部の聖母平和祈願

任 命
8月1日付
湯江教会助任
山内春治師
(コンベンツアル聖
フランシスコ修道会)

最近の「よきおとずれ」の記事はほとんどと言っていることを学び合うように促した。共同祈願では、亡くなった方々の永遠の安息を願い、平和を構築するための努力の上に主の導きを願った。浦上教会と平和公園と同じ時間に、行われる祈りの集いは、大きな節目を過ぎた新たな年に平和を築いていく大きな力となった。

ペトロ岐部と187殉教者 列福特別献金のお願ひ

目標額 3千万円
郵便振替 口座番号 00160-1-483345
加入者名 (宗)カトリック中央協議会 列福献金口
銀行振込 三菱東京UFJ銀行 門前仲町支店
普通預金3822007
口座名 (宗)カトリック中央協議会 列福献金口
※殉教者列福にかかわる広報活動、列福式の国内開催などに使われます。
受付 列福式終了まで
詳細 日本カトリック司教協議会
殉教者列福調査特別委員会
電話 03-5632-4445
FAX 03-5632-4465

聖堂祭壇の安置所に納められた。名簿は3冊に分かれていて、浦上教会の3人の信徒によって安置所に永久保存された。引き続き原爆で犠牲になった浦上信徒の追悼ミサが本聖堂で行われ、初めに原子爆弾が投下された11時2分に黙とうをささげた。また説教では永井隆博士が合同慰霊祭でささげた追悼の辞を朗読して、新たな61回忌の今年に私たちに訴えかけていることを学び合うように促した。

「よきおとずれ」

6年ぶりの再会

ベラルーシで精力的に働く ザウルニョク・ウラジスラウ神父

2000年、チェルノブイリ原発事故の影響を受ける隣国ベラルーシのザウルニョク神父の要請を受け、被爆マリヤ像をたずさえた浦上教会の当時の主任司祭を団長とする一行がベラルーシを訪ねた。

6年後の今年、ザウルニョク神父は2000年に交流を持ってから今日まで続けてきた活動の報告と、被爆地長崎と放射能汚染を受けているベラルーシとのさらなる交流を願って日本を訪問した。8月7日午前、神父は高



見大司教と面会しベラルーシの現状や各種の宗

教に若者が流れていく問題や、250万人のカトリック信徒に対して司祭が400人と不足していることなどを率直に語り合った。

7日午後、2000年当時のベラルーシ訪問団の一行である三村誠一神父、川口昭人神父、山下俊一長崎大学教授、西村勇夫氏(浦上)、東島尚志



氏(KTN)らがセンターレストランで6年ぶりの再会を喜んだ。通訳にはミス・タチアナが全面的に協力してくれた。この6年間で温めていた計画がどのように実現されて

純心学園慰霊祭

8月9日8時30分から長崎市文教町の純心中学校・女子高等学校佐藤洋子校長、1068人で、原爆で亡くなった生徒・教師214人にささげる殉難者慰霊祭が行われた。聖堂でのミサの中で平野勇神父(浦上教会主任)は、自分たちの使命が何であるかを考え、行動し、また、世界平和を願う祈るよう呼び掛けた。



が参列する中行われ、燦祭(はんさい)の歌唱、献花、慰霊のことばがささげられた。生徒代表の中学3年新生優春(しんきゅはる)さんは、「長崎に生きているわたしたちには、戦争の愚かさをしっかりと学び、伝えなければならぬ責任があると思います。平和は人々の強く願う心と努力なしでは守られません。わたしたちは一瞬のうちに将来を奪われた先輩方のはかり知れない無念さを決して忘れず、戦争の悲惨さをずっと後世に伝えてまいります」と決意を述べた(写真)。慰霊祭は、新たな平和への思いのうちに閉会した。

純女学徒隊殉難者

13歳から16歳までの純女学徒隊の生徒たちは、戦争が激しくなると授業を受けることができなくなり軍需工場で働いた。毎朝浦上教会までミサに行き、作業服に白い鉢巻で学徒隊の歌を口ずさみながら工場へ向かい、油まみれになってつらい作業に取り組み無事を祈りつつ帰る毎日だった。常に死と直面している緊張と重労働の連続。それでも「わたしたちが頑張らなければと懸命に働き続けた。そんな中投下された原子爆弾によって工場や学校、自宅で被爆。214人の生徒・教師が亡くなった。1949年5月30日、学園玄関前の緑の植え込みに校墓をつくって殉難者の分骨を納め、慈悲の聖母像が安置された。

きたか、興味深い話で時間の経つのも忘れるほどだった。

神父は被爆地長崎の浦上教会と原発事故で同じ苦しみを経験するベラルーシの教会とが被爆マリヤ像によって始まった交流をこれからも深めていきたいという希望を持っている。ヨーロッパへの日本人の旅行が特別なことでなくなっている。今でも、ベラルーシに来る日本人はほとんどいない。もつとベラルーシを知ってもらい、継続的な交流が実現することを願っている。センターでの会

『第20回ワールドユースデー 長崎教区巡礼記録文集』完成



昨年8月、ドイツで行われたWYDケルン大会に参加した長崎教区の青年たちの記録文集がこのほど完成した。大会を通して感じたこと、得たもの、新たな発見、一人ひとりの振り返りが記されている。文集は今後、各小教区・関係先に配布される予定。

長崎市主催 「原爆犠牲者慰霊 平和祈念式典」

4千人を収容できる大テントが満席になった。被爆61年、原爆犠牲者慰霊平和祈念式典は8月9日午前10時40分から被爆地・長崎市松山町の平和公園で行われ、原爆投下時刻の11時2分、長崎の鐘を合図に黙とう、参列者には遺影を胸に涙する姿も見られた。



『千羽鶴』を歌う純心校生徒

長崎市の伊藤一市長は平和宣言で、「人間は、いったい何をしているのか」と被爆61年を迎え、ここ長崎では怒りという声の渦巻いていま

すと語気を強めた。

また、核保有国を初めて名指しで批判、核不拡散体制の崩壊の危機への懸念と、国際社会に核兵器全廃への取り組みを促し、核兵器は科学者の協力なしでは開発できない、

ふどう園

▼市民セミナー第6回 講話「長崎の歴史に見る文化交流」 9月16日(土) 19時 大浦天主堂 問合先・アジェンダNO V Aながさき TEL095(848)0492
▼福者カミロ・コンスタンツォ殉教祭 9月17日(日)14時 田平町焼罪史跡公園 雨天は田平教会
▼イエズス会立山修道院 お知らせ

「祈りの一日」とともに祈る日々は、実生活や問題を振り返り、静かに祈りたい、静かな時間を持ちたいと思う方はどなたでも(信徒、一般の方も問いません)自由に参加できるものです。

●祈りの一日 ①9月18日(月) ②9月24日(日) ③9月25日(月) ④10月16日(月) 9時50分～15時半
●ともに祈る日々 ①9月22日(金) ②10月7日(土) ③9月9日(月) 初日 17時～最終日15時半

TEL095(821)4577
▼117回クルシリヨ 9月21日(木)～24日(日) 福江教会 2万円
問合先・福島清子 TEL095(871)4659
▼聖トマス西と15殉教者ミサ 9月24日(日)14時 長崎歴史文化博物館(サン・ドミンゴ教会跡)中町教会にてミサ
▼研修会「聖書による口ザリオ」 10月1日(日)13時半～16時半 さくらの里聖家族教会 聖書を用いた口ザリオの黙想の説明と体験。
申込先・教区典礼委員会 研修会事務局(長崎カトリック神学院内) TEL095(844)1096 FAX095(840)0750
▼第31回大村殉教祭 10月8日(日)13時 大村市民会館 ミサ後、市民会館から放虎原殉教地まで徒歩巡礼をします。
問合先・水主町教会 TEL0957(52)2830
植松教会 TEL0957(52)2256
▼188名の列福祈願ミサと聖体行列 10月8日(日)13時 南島原市・原城趾

▼公開聖書講座「新約聖書の中の詩編」 10月19日(木)19時～20時半 カトリックセンターホール 講師・高見三司大司教 前売券800円
問合先・生涯養成委員会 TEL095(841)7731
▼聖歌研修会 10月29日(日)14時 お告げのマリア修道会本部修道院 だれでも参加できます。
問合先・同修道会本部 TEL095(846)8300
▼「甦る天正の音色」～天正遣欧使節団が聴いた音楽～ 10月29日(日)18時半 浦上教会 出演・ダンスリールネサンス合奏団 講演・結城了悟師(前26聖人記念館館長) 問合先・KTN TEL095(827)3400

寄付

長崎大司教区
●高見三子様(滑石)
●片岡ツヨ様(浦上)
●谷山芳松様(樺崎)
長崎カトリック神学院
●匿名様(浦上)
●山里小昭和5年卒業生ご同様
●匿名様(浦上)

右の方々からご寄付を賜りました。お礼とご報告を申し上げます。

香典返し お礼とご報告

長崎カトリック神学院
●浜口陽子様(黒崎)
●故パウロ浜口 実様

右の方から神学生養成のために、香典返しに代えてご芳志を賜りました。お礼とご報告を申し上げます。お礼とともに故人のごめい福を心からお祈り申し上げます。

(医) 外尾内科医院

院長 ベトロ 外尾 明利
〒857-1152 佐世保市黒髪町34-4
TEL0956-33-5557

主の平安

株式会社 五島式典社(斎場) 五島中央会館
代表取締役 ヨゼフ 浦 昭
五島市上大津町 1385 番地 1 TEL (0959) 74-5551
24時間営業 FAX (0959) 74-5552

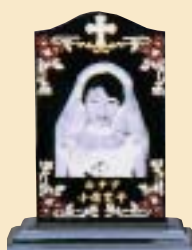
琴海メモリアルパーク 琴海ニュータウン側

社団法人 西部長崎共同墓地公園
事務局 ミカエル 大田 力
西彼杵郡時津町子々川郷172番地
TEL FAX 095-884-1817

砕石・栗石・港湾用捨石一式生産販売

たつみ産業株式会社 西田商事株式会社

代表取締役 ミカエル 西田 寛己
本社 〒857-1166 佐世保市木風町1468番地
TEL (0956) 31-8268



○写真・御絵・思い出など彫刻
○石碑
○納骨石工事
○納骨堂分譲
なが さき せき ちゅう
長崎石彫
ヨゼフ 岩永 博明
☎(095)862-2469
長崎市梁川町6-17 岩永ビル2F

【書 籍】 聖書、祈祷書、聖歌集 etc
【聖 品】 十字架、ロザリオ、御像 etc
【その他】 CD・DVD、ビデオ etc
【営業時間】 AM10時～PM6時 【定休日】 日曜・祝日
キリスト教書籍・用品専門店
サンパウロ 長崎宣教センター
長崎市上野町2-6(カトリックセンターから徒歩1分)
TEL 095-841-8033 FAX 095-841-8034

小共同体づくり入門講座開催

期間：2006年11月19日(日)～2007年3月4日(日)
(11/19,26 12/10,17 1/21,28 2/4,18,25 3/4 全10回)
日時：毎週日曜日、午後2時～4時
場所：カトリックセンター 参加費：5000円
申込：電話・ファックス等可。締切：10月15日

詳細

小共同体推進室
Tel 095-842-4450
Fax 095-842-4460



8月14日夕、根獅子・紐差小教区合同殉教祭が厳かに行われた。たいまつを手にした信徒の行列は、海浜の昇天石からマリア像、聖地うしやきの森(おろくにんさまの塚)を通り根獅子公園の仮設祭壇へと向かった。殉教祭は今年8回目、約400人が参列した。写真。

根獅子・紐差合同殉教祭

——平戸市——

8月5～6日に教区宣教委員会巡礼部主催で広島原爆平和巡礼が行われ、中村満神父(カトリックセンター)同行のもと約20人が参加した。

広島原爆平和巡礼

教区宣教委主催



早朝、長崎を出発し、正午頃に広島到着。市内にある「キリシタン殉教の碑」を訪ね、広島平和記念公園へ。グループに分かれて、資料館見学と公園内の碑を巡った。午後6時、公園に集合し、全国各地の参加者とともに長い行列を組み、聖歌を歌いながら世界平和記念聖堂まで平和行進。写真。その後、盛大な平和祈願ミサがささげられた。ミサには、初めて日本聖公会の主教(司教)

と信者200余人が参加し、共に世界平和を祈った。翌朝、三次にあるキリシタン遺跡を見学し、三次教会で高見大司教司式によるミサに参り、帰路についた。下関では26聖人が西坂への途中入船したと言われる「ザビエル上陸の地」に寄り、夕刻、無事に長崎に着いた。

「いのちの尊さをどう伝えるか」をテーマに、7月30日14時から長崎ブリックホール国際会議場でシンポジウムが開催され、約400人が参集した。

「いのちの尊さをどう伝えるか」

——シンポジウム——

長崎純心大学大学院の児島達美教授、「長崎いのちの電話」・柴田芳男理事長、精道・牧山涼子校長の4人のシンポジストを迎え進められた。各氏は現代社会にお



山内師は「教育とは何か」「社会と大人の責任」を4氏の共通点・まとめとして強調、参加者自身にとっても「いのちの尊さ」を考えさせられる機会となった。

生け花による典礼表現

7月23日(日)、新上五島町の青方教会を会場に、教区典礼委員会主催

研修会「生け花による典礼表現」が開催された。参加者は地区の各教会からの信徒約60人。前半は、生け花で典礼を表現するというこ

について、考え方や注意点の紹介があり、秘跡や福音を表現する具体例をスライドで学習した。後半は聖書の言葉を讀んで、それを所定の花材

で表現する実習。華道講師の助言を受けながら、「主の姿容」の福音は3本の向日葵を、また「聖母の被昇天」の福音は2本の白百合を中心に表現

されていた。作者の解説カードを添えて作品観賞となったが、いずれも参加者の典礼に対する意識の高さが伝わるものばかりであった。

当日はお盆休みで、会場には大勢の観客も詰め掛け、熱のこもった声援がさらに大会を盛り上げていた。

長崎地区壮年親善ソフト大会

7月30日(日)第24回長崎地区カトリック壮年親善ソフトボール大会が長崎・木鉢地区において

開催され、真夏の炎天下のもと熱戦が繰り広げられた。

16小教区から18チーム、壮年約360人と神父さま方が集い、婦人会の盛大な応援が飛び交う中、砂まみれになったのハッスルプレー続出の好試合が展開された。また、コートの外ではお互いの親睦を図り、壮年の力が結集、充実した大会となった。

成績は次の通り。

長崎地区子供球技大会

8月17日、「子供の会」主催による長崎地区子供球技大会がシーハットお

おむらで開催され、各地から15小教区、30チームが参加、選手・応援団合わせて約700人が会場に集まった。

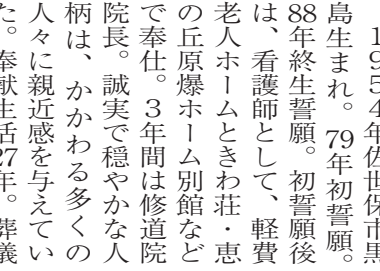
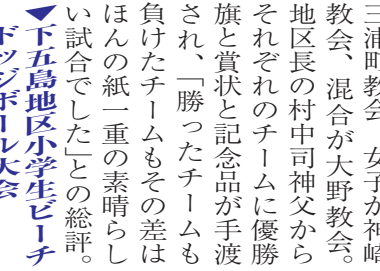
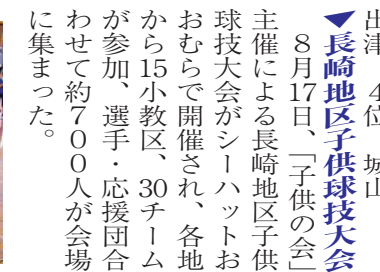
成績は次の通り。

佐世保地区ドッジボール大会

8月13日(日)、相浦振興体育館において、佐

世保地区の小学生ドッジボール大会が開かれ、13全小教区から23チームが参加した。

大会は、男子・女子・混合の3つのブロックに分かれて行われ、白熱した試合のもと、それぞれのブロックの中で優勝が争われた。



知的障害者通所授産施設

サクラ施設長 末永さち子さん

お姉さんから提供受けた古い家を改装、家具も提供品だが、小規模ながら作業所の形を構える。1年間無償でボランティア

を申し出た看護師もいた。現在、施設は職員9人、通所者11人、奉仕者多数の協力に甘え細ながら運営していることを県関

係者は「不思議な存在」という。主な活動を拾うと、パイン教室の開催・販売、協力団体の洗車作業、ヒジ

年、手探り状態で頑張ってきたが、これから本番です。作業所は障害者の収入源といわれているが、得る収入はわ

（1999年）、地元合唱団の協力を取り付けオペラ「忘れられた少年」を企画、実行委員長を務め

る。公演開催で島は賛否両論わいたが支援司祭の後押しもあり、1600人の観客を集め成功。清算金の一部は、新上五島町カトリックセンターの建設費などに寄付、残金の5万円で作業所が誕生した。「これこそパン種

サクラの名称は、サクラメント(聖なる秘跡)からいただきました。中学1年のとき受洗。平戸口小教区江迎教会。54歳。



「不思議な存在」と長崎県の福祉関係者が驚く。江迎町に小規模の通所作業所「サクラ」を立ち上げたのは2001年。「障害を持つ友人から子供を見てほしい」と相談を受けたのがきっかけ。施設は、ある修道女の

「いのちの尊さをどう伝えるか」をテーマに、7月30日14時から長崎ブリックホール国際会議場でシンポジウムが開催され、約400人が参集した。

山内師は「教育とは何か」「社会と大人の責任」を4氏の共通点・まとめとして強調、参加者自身にとっても「いのちの尊さ」を考えさせられる機会となった。

成績は次の通り。

大会は、男子・女子・混合の3つのブロックに分かれて行われ、白熱した試合のもと、それぞれのブロックの中で優勝が争われた。

大会は、男子・女子・混合の3つのブロックに分かれて行われ、白熱した試合のもと、それぞれのブロックの中で優勝が争われた。

大会は、男子・女子・混合の3つのブロックに分かれて行われ、白熱した試合のもと、それぞれのブロックの中で優勝が争われた。

大会は、男子・女子・混合の3つのブロックに分かれて行われ、白熱した試合のもと、それぞれのブロックの中で優勝が争われた。

大会は、男子・女子・混合の3つのブロックに分かれて行われ、白熱した試合のもと、それぞれのブロックの中で優勝が争われた。

大会は、男子・女子・混合の3つのブロックに分かれて行われ、白熱した試合のもと、それぞれのブロックの中で優勝が争われた。

大会は、男子・女子・混合の3つのブロックに分かれて行われ、白熱した試合のもと、それぞれのブロックの中で優勝が争われた。

大会は、男子・女子・混合の3つのブロックに分かれて行われ、白熱した試合のもと、それぞれのブロックの中で優勝が争われた。

大会は、男子・女子・混合の3つのブロックに分かれて行われ、白熱した試合のもと、それぞれのブロックの中で優勝が争われた。

大会は、男子・女子・混合の3つのブロックに分かれて行われ、白熱した試合のもと、それぞれのブロックの中で優勝が争われた。

大会は、男子・女子・混合の3つのブロックに分かれて行われ、白熱した試合のもと、それぞれのブロックの中で優勝が争われた。

大会は、男子・女子・混合の3つのブロックに分かれて行われ、白熱した試合のもと、それぞれのブロックの中で優勝が争われた。

大会は、男子・女子・混合の3つのブロックに分かれて行われ、白熱した試合のもと、それぞれのブロックの中で優勝が争われた。

大会は、男子・女子・混合の3つのブロックに分かれて行われ、白熱した試合のもと、それぞれのブロックの中で優勝が争われた。

大会は、男子・女子・混合の3つのブロックに分かれて行われ、白熱した試合のもと、それぞれのブロックの中で優勝が争われた。

大会は、男子・女子・混合の3つのブロックに分かれて行われ、白熱した試合のもと、それぞれのブロックの中で優勝が争われた。

大会は、男子・女子・混合の3つのブロックに分かれて行われ、白熱した試合のもと、それぞれのブロックの中で優勝が争われた。

大会は、男子・女子・混合の3つのブロックに分かれて行われ、白熱した試合のもと、それぞれのブロックの中で優勝が争われた。

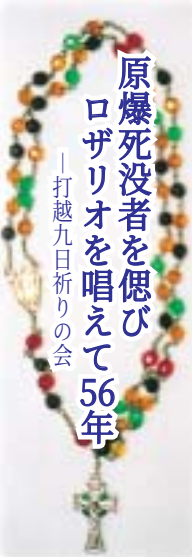
大会は、男子・女子・混合の3つのブロックに分かれて行われ、白熱した試合のもと、それぞれのブロックの中で優勝が争われた。

大会は、男子・女子・混合の3つのブロックに分かれて行われ、白熱した試合のもと、それぞれのブロックの中で優勝が争われた。

大会は、男子・女子・混合の3つのブロックに分かれて行われ、白熱した試合のもと、それぞれのブロックの中で優勝が争われた。

大会は、男子・女子・混合の3つのブロックに分かれて行われ、白熱した試合のもと、それぞれのブロックの中で優勝が争われた。

大会は、男子・女子・混合の3つのブロックに分かれて行われ、白熱した試合のもと、それぞれのブロックの中で優勝が争われた。



原爆死没者を偲び ロザリオを唱えて56年

—打越九日祈りの会—

ある日の午後、バス路線から10数メートル路地に入った長崎市本原町の井手口ヨシ子さん宅から祈りの声が流れてきた。毎月「9日」を原爆死没者のためにロザリオを唱えている「打越九日祈りの会」

の集い。

祈りの会は、原爆で亡くなった家族、親族を思い誰となく「祈りは生きている人の務めたい」と1950年からこの56年間、1回も休みなく会員宅を輪番に祈りが続く。

現会員は上野町の被爆者を中心に山田マツノさん(上野町)山田美代子さん(同)山田シズさん(同)井手口ヨシ子さん(同上野町、現本原町)山田アヤ子さん(上野町)山田ハツエさん(同)吉野スヤ子さん(同)の7人。平均年齢80歳だが、会員は毎月9日、月当番の家庭に集まり、ロザ



ロザリオの
祈りをささげる会員

リオ、すべての死者のため、病人の回復 召命のための祈りをささげる。原爆慰霊平和祈願祭がある8月9日、また特別な行事がある日は、9日後に変更して祈る。長い間13人の会員を維持してきたが、原爆後遺症で亡くなった人、長期

療養中の人、昨年は病で片岡八重子さんを失うなど7人の会員に減ったという。でも自分自身が被爆者、家族、親族の死没者のことを考えると、最後の独りになっても祈りを続けたいと会員は話す。祈りの集いの日、被爆について質問したが、誰ひとり答えようとしなかった。しばらく間をおいて「あの日(1945年8月9日)のことはあまりにもむづかしく話したくない。焼けただれで死んだ人、畑の中にうずくまり目だけをギョロギョロしていた人、性別も分からないほど焼けた人から声をかけられてもどうすることもできなかった。

かつては巡礼旅行など楽しんだ時もあったが、会員も高齢化し、原爆死没者、司祭・修道者の健康、新しい召命を願う、上野町(打越)出身の教区・修道会司祭に毎月2つのミサを依頼している。同地区の故聖職者は3、修道士4、修道女4。現在活躍中の聖職者は7、

修道士は13人。「打越九日祈りの会」の集いは今年8月で668回を数えた。

城の小石と旧ナバラ王国・国旗 平戸ザビエル記念教会に献呈

ザビエル母方16代目の子孫



ザビエル城



城の石と旧ナバラ王国の国旗

フランススコ・ザビエル生誕500年の年、ザビエルの母方の16代目の

子孫が、6月17日(土)、平戸ザビエル記念教会主任中島健二師を訪れた。訪れたのはアルバロ・

デ・マリチャラルさん(45)。ザビエル神父が生涯を終えた上川島(中華人民共和国)を水上バイクに乗って出発し、約1カ月半をかけて日本に到着、ザビエルゆかりの各地を訪れた。ザビエルが信仰の種をまいた平戸もぜひとも訪ねたかった念願の場所のひとつ。

ちょうど侍者の研修中に同教会を

訪れたアルバロさんは、居合わせた侍者の子供たちに訪れた目的などを話し、スペイン・ナバラ州のザビエル城の小石と旧ナバラ王国の国旗を、聖堂内のザビエル像の前に献呈した。

公演 10月12日(木) 19時
平戸ザビエル記念教会

※問い合わせ先

平戸地区内
平戸地区の各教会
平戸地区外
平戸観光協会
電話 0950-23-8600
FAX 0950-23-8601

▼オペラ「ザビエル」
12月2日(土) 平戸文化センター大ホール。入場料2千円の予定
▼ザビエル年閉年ミサ
12月3日(日) 14時、平戸港交流広場から平戸文化センターまで行列。15時から高見大司教司式によるミサ(詳細、後日掲載)

マルコ10章45節
「人の子は仕えられるためではなく仕えるために、また、多くの人の身代金として自分の命を献げるために来たのである。」

やシスター、お父さんお母さん方、神学生や志願生の人たち、いろんな人たちが皆さんのために準備をし、お世話してくださったと思います。それは何のためでしょう。

もって行われています。これからの2学期の生活の中で、この夏休みにお世話になった方々に感謝を表していきたいと思います。皆さんがきちんとミサにあずかり、教会学校で

とで皆さんの感謝の気持ちです。さて、私たちはかならず誰かのお世話になってます。1人で生きていく人はだれもいません。自分にできることで人の役に立つこと、喜ぶことを行い、助け合っています。

イエスさまは、

私たち一人ひとりのために苦しみを受け、十字架の上で命をささげてくださいました。私たちは身の周りの人たちに心からの感謝を表し、そして親切にすることによって、イエスさまへの心からの「ありがとう」の気持ちを表していきたいと思います。

みことばにふれて

本田靖彦神父



長かった夏休みも終わりました。今年の夏はどんな夏でしたか? 私にとっては初めての教会でむかえる夏だったので、初めてのことが多かった。皆さんの教会ではこの夏休みに巡礼や球技大会などの行事があったでしょう。多分、何かの行事があったと思います。その時のことを思い出してみてください。その時に皆さんのためにいたってくださったのは誰だったのでしょうか? 神父さま

うか? 教会学校の行事は皆さんが教会を大好きになって、そして教会のなにかまを大切に、そして神さまを信じる心を強くしてほしいという願いを

お友だちと仲よくし、がんばってお勉強をしている姿を見て、神父さまやシスター、大人の人たちはきつと喜んでくださるはずです。そしてそのこ

人たちに心からの感謝を表し、そして親切にすることによって、イエスさまへの心からの「ありがとう」の気持ちを表していきたいと思います。

新刊良書

★聖パウロ

アラン・ドゥコー著

奈須瑛子訳

神から生まれた月足らずの子として、自分を卑

下しながらも、自分の熱愛がだれにも劣らないものであることを確信するパウロは偉大な神学者で神秘家。同時に戦略家であり、世紀を越えて万人を惹きつけるユニークな人間として書かれています。女子パウロ会、4200円。DVDも発売、映像でたどる宣教者パウロの世界。4410円。

★カトリックと社会問題
2004年7月に教皇庁国際神学委員会が発表した「人間の尊厳と科学技術」(原題「交わりと管理」)の邦訳が8月末に出版された。現教皇ベ

ネデイクト16世が教理省長官時代に責任者としてとりまとめた、人間の尊厳、進化論、環境問題、科学技術、生命倫理など現代最先端諸問題に対するカトリック教会の見解を示す重要文書。翻訳と解説はカトリック中央協議会司教協議会秘書室研究企画の岩本潤一研究員(東京カトリック神学院講師)の手に成り、全文今年3月刊「カトリック社会福祉研究」(長崎純心大学)第6号に掲載されたが、一般の手に入りやすい単行本の形で中央協議会から出版。全国カトリック書店で購入できる。1200円。

★「ダ・ヴィンチ・コード」はなぜ問題なのか?
中井俊巳著
小説や映画「ダ・ヴィンチ・コード」では、イエスキリストや教会が歴史的にも現代的にもゆがめられ描かれている。それに對し、カトリック信者の著者が「最後の晩餐」に隠された秘密、イエスとマグダラのマリア、オプス・デイなどについて小説の間違いを指摘し分かりやすく真実を解き明かす。小説や映画の誤りに気づいていないまわりの方々に薦められる。著者は長崎市の精道学園の元教師で現在は作家。グラフ社、1050円。



主の平安
カトリック式葬祭・飾付一式

(有) 栄光式典社

代表取締役 ハウロ 西村 勇夫

長崎市辻町7-18

TEL(095)844-4011

24時間営業

FAX(095)843-9896

白蟻調査無料・駆除予防工事5ヶ年保証付
白蟻防除施工士

大田白蟻研究所

代表者 マリア 大島 睦子

(〒850-0811) 長崎市矢の平1丁目14番15号

電話 095-822-8436

FAX 095-822-8436

ハマチ・タイ養殖、アジ・イワシ加工、中型旋網

エテルナ・ワコー(株)

代表取締役 ミカエル 溝口 美義

〒858-0926 佐世保市大湯町586

TEL(0956)47-4380

御像のぬり替え・補修

家庭内や外庭に色がはげたり、傷ついたりした御像がありましたら御連絡下さい。

ヨゼフ

山崎 満

長崎市下黒崎町 3433-2

☎ 0959-25-1117

携帯 090-2714-3192



墓地分譲 墓石 設計 施工

千羽 石材

TEL 095-886-3386

(または 090-4984-5906)

長崎市琴海大平町1977-17

マイホームの美容と健康に!

(有) 山川 塗装

有限責任中間法人 全国住宅火災防止協会理事
長崎県見物営繕工業協同組合理事

代表取締役 ベトロ 山川 進

佐世保市原分町1715-5

TEL(0956)49-3330 FAX(0956)49-8729